

<全体分析>

試験時間 90分

解答形式

論述式, 記述式, 選択記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

大問は例年通り2問で, 選択記述式1問, 記述式1問, 論述式7問 (200字×1, 170字×1, 150字×1, 120字×1, 100字×2, 80字×1) が出題された。

論述式の合計字数は920字で, 昨年850字よりも増加したが, 昨年出題された地形図の読図問題はなく, 分量に大きな変化はみられない。長文論述をまとめる知識や文章表現力のほか, スピードも要求される。

その他トピックス

航空便の所要時間の計算問題が出題された。

ロシアによるウクライナ侵攻をふまえた問いが出題された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	記述式, 論述式 (150字×1, 100字×2, 80字×1)	航空交通	ヨーロッパ各国での観光を目的に羽田空港 (東京) からフランクフルト空港 (ドイツ) まで飛行機で移動するという具体的な場面設定のもと, サマータイム制度の利点と欠点, ハブ空港の特徴, フランクフルト空港からヨーロッパ各国に向かう際の空港での行き先別の手続きの違い, 羽田空港からフランクフルト空港への飛行経路変更の理由についての論述問題が出題された。また, 航空便の所要時間を計算する問題も出題された。	標準
[2]	選択記述式, 論述式 (200字×1, 170字×1, 120字×1)	東南アジア地誌	インドネシア, カンボジア, タイ, ベトナム, ラオスにおける総輸出額に占める衣類品輸出額の割合の表を用いた国名の選択記述式問題のほか, 東南アジアの大陸部における平野部と山間部の自然環境と栽培作物の違いをふまえての伝統的な農業の特徴, 東南アジア諸国における工業化の進展と衣類品生産の位置づけ, インドネシアにおける首都移転計画の背景 (指定語句あり) についての論述問題が出題された。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書に記載されている地理事象について, 自然的要因や歴史的背景, 社会的背景も含めて正確に理解しておく必要がある。難問は少なく, 教科書をしっかりと学習し, 理解を深めておけば十分に解答できる。長文論述も含まれ, 多岐にわたる内容を問われるため, 論述すべきポイントをコンパクトにまとめる必要がある。過去の入試問題などを利用して, 出題の意図を正確に読み取る力と長めの文章を構成する知識および表現力を日頃から鍛えておきたい。